

1 小学部

(1) 教育目標

健康な生活を送り、学習基盤をつくるための基本的な知識、技能を学び、多くの経験、体験をとおして、自分の気持ちを表現しながら友達や身近な人と関わる。

(2) 方針

- ア 児童一人一人が豊かな生活を送ることができるよう、個性を発揮し、充実感をもてるための支援に努める。
- イ 児童一人一人の実態と保護者の願いを把握し、個別の課題の整理と焦点化を行い、その解決に視点をあてた支援に努める。
- ウ 基本的な生活習慣の定着を図るため、基礎的・基本的な内容に対して、継続的な指導を行う。
- エ 各学習指導においては、児童一人一人の能力や特性を見極め、計画的、継続的な指導を行う。
- オ 学級の活動を基本にすえ、個に応じた支援を行うとともに、学習集団に柔軟性と機能性をもたせ協力体制の充実を図る。
- カ 豊かな人間関係を築き、社会性を育てるため、校外学習、交流及び共同学習を児童の実態に応じて計画、推進する。
- キ 中学部や高等部、各分掌、寄宿舎、事務との連携を密にして、相互の交流を促進し、円滑な学校運営に努める。
- ク 保護者や地域住民、各関係機関との連携を図り、共通理解を図った教育を推進する。
- ケ 児童、保護者のニーズに応じ、共通理解を図り、居住地校交流の実施に向けた支援を行う。

(3) 今年度の重点目標

「いってみよう、やってみよう！」

- ア 個別の教育支援計画に基づき、保護者との共通理解を図り、将来を見据え継続した指導の充実に努める。
- イ 児童一人一人の課題と実態を適切に捉え、提示方法の工夫を行い「分かりやすさ」と「継続的な学び」を重視し、学習の計画および日々の授業改善に努める。
- ウ 学年、ブロック間の連携を深め、教職員間の共通理解を図り、指導の充実に努める。

(4) 教育課程

ア 編成の方針

- (ア) 学校教育目標、学部教育目標をふまえ、学級の目標を設定する。また、児童一人一人の障がいの状態や発達段階に応じた個別の指導計画を立て、効果的、継続的な教育を行う。
- (イ) カリキュラム表を基に年間指導計画を作成し、児童の実態や発達段階に合わせた単元計画や指導略案作りに努める。
- (ウ) 日常生活の指導、生活単元学習、遊びの指導等、各教科等を合わせた指導を中心とした教育課程を実施する。
- (エ) 教科別指導、領域別指導では、各教科等を合わせた指導との関連を図りながら行う。
- (オ) 指導の記録をとり、教育評価及び教育課程の改善に努める。
- (カ) 特別の教科道徳については、心身ともに健やかに自ら考え行動し、自立する力を育てるために全教育活動を通して、人との関わり方や決まりなどについて意図的、継続的な支援を行えるよう教育課程の編成に留意する。

イ 教育課程の編成

(ア) 各教科等を合わせた指導

○日常生活の指導

- ・個々の実態に応じ、基本的な生活習慣の形成を目指し、身辺処理に関する知識、技能、態度を身に付けるため計画的・継続的に支援を行う。
- ・給食時間を通して食べることの楽しさ及び食べる意欲を育て、健康な身体作りのために継続的な支援を行う。

○遊びの指導

- ・楽しい活動を通して身体活動を活発にし、友達との関わりを促し、意欲的に遊びに参加する力を養う。

○生活単元学習

- ・児童の生活に即し、興味・関心を大切にしながら学習活動を計画し、具体的経験を通して知識、技能の向上や生活に必要な力を養う。(5. 6学年は生活単元学習の中で遊びの指導の学習内容を扱う)

(イ) 各教科等の指導

○教科別の指導(国語・算数は、課題別学習として位置付ける)

a 国語

- ・具体的な生活経験と結び付けて、日常生活に必要な力である聞く、話す、読む、書くなどの能力を養うとともに、それらを表現する能力と態度を育てる。

b 算数

- ・具体的な生活経験と結び付けて、日常生活に必要な数量や図形などの基礎的・基本的な内容を理解させるとともに、それらを扱う能力を育てる。

c 音楽

- ・いろいろな音楽活動を通して音楽に親しみ、楽しむ気持ちを育てるとともに表現力を高める。

d 図画工作

- ・いろいろな造形活動を楽しみ、造形表現の喜びを味わうようにする。

e 体育

- ・いろいろな運動を通して楽しく身体を動かし、基礎的な運動能力を身に付けるとともに体力の向上や楽しく明るい生活を営む態度を育てる。

(ウ) 特別の教科 道徳

- ・全教育活動を通して約束や決まりを守り、友達や身近な人とより良く生活できる力を育てる。

(エ) 外国語活動

- ・児童の実態を考慮し、他の教科、合わせた指導、自立活動の内容と関連付けながら計画し、体験的に感じたり、理解したり、経験したりできるような活動を行う。

(オ) 特別活動

- ・児童の実態や発達段階に応じた学習活動の場(集会活動・学校行事等)を設定し、学級、ブロック、学部、全校の諸活動への参加意欲を高め、集団活動へ参加する態度を養う。

(カ) 自立活動の指導

- ・児童の障がいの状態や発達段階、特性等の実態を十分に考慮し、一人一人に応じた課題を設定し、教育活動全般の中で課題の解決に努める。
- ・特別な支援が必要な児童については、保護者や関係機関と連携し、自立活動の時間を設定した指導を行う。

(5) 年間行事計画

実施期日	行事名	担当者
7月15日(水)	4年生社会見学(円山動物園)	牧野
7月17日(金)	3年生社会見学(円山動物園)	菅原
7月21日(火)	5.6年生南幌小学校との交流及び共同学習	小西、太田、松村
9月10日(木)～11日(金)	見学旅行(6年)	松村、坂上
9月17日(木)～18日(金)	宿泊研修(5年)	半沢、太田
12月1日(火)	1.2年生南幌小学校との交流及び共同学習	小西、下河原、鈴木
12月10日(木)	3.4年生南幌小学校との交流及び共同学習	小西、坂本
2月24日(水)	6年生を送る会	下河原、宮川、半沢